



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目 35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第404号



## 2年続き コロナ禍のご降誕祭

### でも、喜びの中で

11月21日統合ミサの後「臨時総会」が開かれました。その後降誕祭を迎えるため、馬小屋、御降誕祭の飾り付けなどもおこなわれました。今月のトップ記事は、「御降誕祭」と「臨時総会」の二本立てとなります。いずれも、信徒の皆さんにとって大切な関心事であろうと思いのなのであえてそうしました。

ベトナムの皆さんが11月27日に園庭の南隅にクリスマスの馬小屋を造ってくれました。昨年より一回り大型で素敵です。14、5人が蜜を避けながらも和気あいあい、楽しげな様子で製作にいそしんでいました。信徒の皆さんもご覧になってベトナムの彼らに感謝を追捧げ下さい。

昨年に引き続きコロナ禍の中で今年も様々なことが中止になっています。地区の街頭募金もその一つ。ただ、子供たちの募金は例年通り。聖堂の玄関口で行います。例年なら地区の街頭募金に投ずる募金を子供たちに投じていただければ、子供たちも喜び一杯に…

24日のクリスマス夜半ミサもキャンセルサービス、パーティは中止です。蜜を避けたいのですが、昨年の反省から6、7人掛けの椅子は4人程度座らざるを得ません。いつもは3人ですの

てやむをえすの措置です。25日のクリスマスは午前10時から行われます。



臨時総会	2・3面
となりひと	3面
聖家族と共に	4面
幼稚園から	5面
教会学校より	6面
委員会等報告	7面
お知らせ・今日の聖人	8面

## 将来に向け、積み立て開始を提示

ミサ後の臨時総会には83名の出席がありました。

冒頭神父様から「11月7日小教区委員会が開かれ、聖堂屋根の工事を依頼することが正式に決定」したことが報告されました。「今後、工事を請け負うことになる業者、工費、工事内容を司教様および責任役員の神父様方へ報告し、認可をいただく事になります。勿論、許可をえたら業者による説明会を開き、工事の内容をお伝えします」としました。

また、今回の工事費用は営繕積立金を切り崩す事も明らかにされました。

た、今回の臨時総会は「聖堂屋根の工事を行う事実の事だけではなく、その現実と向き合う中でわき上がってきた思いについてです。それは、教会施設全体の将来を考えた時に、その都度、営繕積立金を切り崩して工事を続けることは不可能だと実感したことそのものです」という神父様の思いから開かれました。

水巻教会の現聖堂は「1993年に落成式を迎えたのですが、振り返ってみると1973年信徒総会の中で「子、孫の時代、いつかは教会を建て替えなければいけない時代がやってくるそのために積み立てを始めておこう」というベルトラン神父様の呼び掛けによって一世帯500円/月の額を設定して積み立てが始まり」ラバルタ神父様、ベリオン神父様の歴代神父様ごとにその額を増していきました。その資金を基金として20年間に4.850万円が集まり教会建設の目的が立ちさらに個人的な寄付や教区からの支援で教会落成となりました。そして「落成時に余った分を現在、営繕積立金として計上しています。「2014年の教会堂壁面、聖堂屋根の塗装工事費用もこの積立金から支出されています」

神父様は水巻教会の現状をこう指摘されました。「他の小教区と同じく、信徒の減少、それに比例した維持費の減少も顕著となっています。また水巻教会特有の環境ですが隣接する幼稚園の事情と深くかかわっている」としました。というのも2017年司祭館が園舎内に存在するため学校法人に移行できないとの指摘を受けたことがあります。この時、司祭館移築を考えざるを得ませんでした。実際には実現しませんでした。が、「幼稚園園舎の建て替え、増築または移築などが現実になった場合、必然的に園舎内に存在する司祭館そのものが失われることとなります。また将来的に教会堂を壊さなければならなくなったとしても多大な費用が掛かります」

こうした事情を踏まえ「10年後、20年後、30年後の水巻教会を思い描く中で建設資金積み立てを始めておかねばならないという決意に至ったのです」と言われました。さらに「大きな負担を背負わせてしまうことは重々承知しています。しかし、教会堂は皆さんからの支えによって維持・管理され、また司祭自身が滞在できるのも、生活できるのも皆さんの支えなしには実現できることではありません。私自身も在任中、自分にできる事をいたしますので、ご理解頂けると幸いです」

「今後、維持費袋、納骨堂管理費袋とともに建設献金袋を準備します。目安として一世帯1,000円/月を収めていただきたく思います。なお、大きな出費であるため、主任司祭や小教区委員会、地区役員から督促することはありません。ご自分の信仰と向き合い、目安額を収めることのできない方は納められるだけの金額を献金していただければと思います」と挨拶されました。

最後に上川直子信徒会長が「現聖堂落成の頃20歳ぐらいでした。その当時は、やったね！くらいの気持ちでしたが今は子、孫の事を考えねばならない齢になりました。多くの方の賛同を得て少しずつでも将来のために蓄わえていけたらと思います」と挨拶をされ閉会となりました。

## 水巻教会の世界のなかま となりひと

今回は Anton phan トウアンさんを紹介します。

福津市の(株)山内工業で建設設備配管溶接の仕事をしています。住まいは折尾ですが毎朝、もう一人の同僚と一緒に会社の送迎車で通勤しています。

先日23歳の誕生日には沢山の人からお祝いのメッセージを頂きましたが、特に社長からプレゼントされたバースデイケーキは一嬉しかったです。有難うございました。

日本に来てから2年ですが、毎日楽しく仕事をやっていますので、困っている事は有りません。

教会のミサでベトナムの友達と会えることがとても楽しみです。



## 「聖家族と共に」

主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志

わたしごとで恐縮なのですが、今月(12月)はじめ、妹が結婚いたしました。結婚は本人たちにとっては当然のことですが、親にとっても大きな出来事です。式中、わたしは司式をしていたのですが、喜ぶ母の姿を見ながら、親にとっての喜びがどれだけのものかを想像していたのを覚えています。相手の方は職場の同僚で、以前、二人が休みの日に時間を見つけて司祭館まで来てくれたのですが、その際にはゆっくりと食事も、他愛のないことや真面目なことなども話すことができ、式当日、親しみをもって送り出すことができました。

**「順境にあっても逆境にあっても、夫婦として、互いに愛と忠実を尽くすことを誓います」**

この誓約のことは、カトリック教会において結婚が成立するためには欠かせません。互いに順境にあるとは、逆境にあるとはどういうことか。相互に愛するとは、忠実を尽くすとはどういうことか。とても大きな意味を持っていることばですので、結婚講座を通して互いにその問いかけに答えるための準備をします。そして、結婚後の二人は結婚生活と向き合う中でそれらに答えるためにはどうしたらいいのかを、実際、対話のなかで見出していきます。

家族は特別で、そして神秘的な存在だといえます。自分たちの意志で結び合わせられたのですが、二人だけの世界では越えられない現実と向き合う共同体となっていくからです。自分だけの意志を貫く集まりを家族とは呼べませんし、対話もなしに過ごしていると一握りの真剣に生きようとする周囲の人の生きる権利までも奪うからです。教皇フランシスコは次のように述べています。

**「対話がないということは、それぞれの分野で、だれも共通善に関心をもたず、むしろ、権力がもたらす利益を得ることに、あるいはせいぜい自分たちの考えを押しつけることだけに気が向いているということです」。**「未来を担う英雄とは、この病んだ論理を打ち破り、個人的な都合ではなく、敬意をもって真実に満ちたことばを語ろうとする人のことでしょう」。回勅『兄弟の皆さん』202番

信仰を持つ人が家族をつくるということは、対話によって深まっていく社会そのものを間接的につくり上げていくということにつながります。イエス様をお迎えすることとなったヨセフ様とマリア様。彼らは神の国を形づくるための模範である、対話をもって過ごした家族です(ルカ2・41～52参照)。2022年、わたしたちがこの聖家族の姿に倣い、今の時代に生かされていることの意義を自覚しながら過ごすことができますように。



## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 12月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### <水巻聖母幼稚園>

11月は、七五三祝福式があり、神父様に一人ずつ祝福をして頂きました。保護者の方の愛情を沢山顶いている子どもたち。

これからも大きく成長していく姿を見守っていきたいと思います。

先日、移動動物園が園に来ました。子どもたちは沢山の種類の動物たちにとっても目を輝かせ、動物たちとの触れ合いを楽しみました。餌をあげたり、抱っこをしたり、良い経験になりました。

もうすぐイエス様のご誕生ですね。年長児は聖劇を通して、イエス様のことをより深く知ることが出来ました。神父様にお話をして頂き、何をプレゼントするか考え、自分で選んだ役の練習を日々頑張りました。今年度初めて、保護者の方に子どもたちの頑張る姿を直接見て頂ける発表会。どんな姿を見せてくれるのか楽しみです。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : [ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### <マリア子どもの家>



11月は、教会で七五三祝福式がありました。

幼稚園のお兄さん・お姉さんと一緒に神父様のお話を聞き、歌をうたい、一人ひとり拍手して頂きおメダイを掛けてもらいました。月齢が低い子ども達の為には、神父様がお部屋に来て下さいました。

これからも、神様のもとで健やかに成長下さいネ!

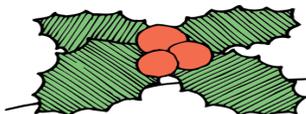
また、水巻聖母幼稚園の園庭に、移動動物園が来ました。ヤギ、カメ、アヒル、カモ、烏骨鶏、ニワトリ、ヒヨコ、ウサギ、モルモットなどが広い柵の中にいました。

柵に入ると、動物が手の届くところにいるので、怖がって泣きそうになる児は柵の外で見ました。平気な児は、ヒヨコやモルモットを触ったり、膝の上に雑巾を置いて抱いたり撫でたりしました。本物の動物に触れることができた、楽しい時間でした。

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家  
水巻聖母 幼稚園・マリア子どもの家  
園長 水口 由美  
教職員 一同



教会学校のページ 

10月17日



10月17日午後より、子ども達と保護者の皆さんその他のスタッフ総勢10名で直方教会所属信者さんであられる嶋立さん宅にて、楽しいレクレーションタイムを持つことができました。今年度初めての教会学校行事です。

嶋立さん宅に到着すると、豊かな自然に囲まれた環境の中、ご自分で創作された様々な遊具に、子どもも大人も驚きとワクワク！また、水巻教会からの訪問に備え、様々な準備をされており、その心遣いに感動するばかりでした。最初は、ハロウィン用のカボチャをくりぬきランタンづくり、その間には、キャンディを使って花束制作、竹とんぼ飛ばし、大きな桶に作られた迫力満点のブランコ、竹がローラーになった滑り台、まだまだ続きます・・・かき氷作り（ちょっと寒かったけど、めちゃくちゃ美味しい◎）、ご自宅内では、これも手作りの射撃ゲームと、とにかく

圧巻のおもてなしに、参加した全員驚くばかりでした。  
ご夫妻とお手伝い頂いた信者さんに心から感謝申し上げます。このような他教会の信者さんとの繋がりを大切にし、互いに奉仕して豊かな時間を過ごして行けたらよいですね。



# 委員会等報告

2021年11月分

## 11月度小教区委員会 11月7日

### 1. 行事予定

- ・12月19日(日) 子ども達による献金
- ・12月24日(金) 降誕祭夜半ミサ  
20:00から
- ・12月25日(土) 降誕祭 ミサ  
10:00から
- ・1月1日(土) 元旦ミサ 10:00～  
成人のお祝い、車の祝別
- ※ ミサはこの1回のみ
- ・1月3日(月) ベトナム語のミサ  
10:00から
- ・1月9日(日) 11時のミサ後クリスマス  
飾り付け撤去。
- ・1月16日(日) 小教区委員会

### 2. 議題

#### (1) 各委員会報告

##### ①納骨堂委員会

- ・1組の返納がありました

##### ②広報委員会

- ・11月号は小教区委員会未実施のため特別号を発行
- ・12月号は小教区委員会の内容で発行

##### ③営繕委員

- ・掲示板が意味をなさないと、撤去を考えている
- ・鐘楼の傾きが不安との声あり
- ・クリスマスの飾り付け(主に電気)を前もって作業していく

##### ④典礼委員会

- ・クリスマスのキャンドルサービスは中止
- ⑤総務委員
  - ・お花を活ける会を再開したい。プランタなど購入予算をつけてほしい
  - ・歴代神父様の写真を交換予定です  
(2) 屋根の錆について  
以下の手順で進める予定
    - ・手順の確認
    - ・見積書を受領後教区顧問会への嘆願書を主任司祭で作成、提出
    - ・司教及び教区顧問会の許可を得て工事を依頼(工事は夏休みに限定となる)
    - ・司教と責任役員会への説明、了解を得たのち、小教区へ説明会を実施予定
    - ・信徒への説明は工事業者に依頼する予定
  - (3) 積立を始めるにあたって
    - ・役員会で作成した文章を小教区委員会で確認後、14日に配布予定
  - ・21日9時のミサ後、臨時総会にて説明会を実施
  - ・積立は28日から納入できるよう準備する

### 3. その他

- ・ベトナム人青年たちとの共同体づくりのために、パイプ役となる青年を1名、小教区委員会に招く  
→ニャットさんをお願いする。
- ・日本語習得のための勉強会を行う



# 12月のお知らせ

## ★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを12月5日(日)まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は12月19日からお渡しします。

## ★降誕前夜祭・降誕祭ミサ★

今年も、24日、25日のどちらかで参加をお願いします。いずれの日もミサ後のパーティーはありません。

日 時：12月24日 20時～  
12月25日 10時～

## ★元旦ミサ★

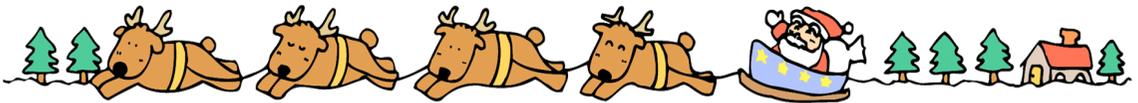
日 時：1月1日(土)  
午前10時～ 1回のみ  
成人のお祝い、車の祝別があります。  
新年茶話会はありません。気をつけてください。

## ★主の公現ミサ★

日 時：1月2日(日)  
午前10時～ 1回のみ  
この日は、日曜日ですが、いつもの時間と始まりの時間が異なっています。

## ★ベトナム語のミサ★

日 時：1月3日(月)  
午前8時～



今月の聖人 15日 聖マリア・ディ・ローザ修道女 1813年-1855年

マリアは、イタリア、ブレシアの織物業者の家に生まれ、パウラと名付けられました。17歳のころ、父から縁談をもちかけられるがその話を断わり、病弱だった母の代わりに家事を手伝う一方、父の工場で働く工員、女工員たちを助きました。コレラの大流行の1836年には、病人の看護に励みました。また、貧しく身寄りのない少女たちが働けるように施設を作り、目や口の不自由な人びとのための学校を設立しました。

彼女の献身的な活動は人びとに伝わり、活動に賛同する少女たち15名が加わって、1840年には「愛の奉仕修道女会」が創立されました。このときパウラは、マリア・クロチフィッサと改名した。その後も、負傷兵やコレラ流行時の病人看護に大きな貢献をし、その生涯をささげました。